



国際交流会とアクティブ・ラーニング

校長 手代木 英明

文部科学省では、平成30年度に施行される予定の「学習指導要領」の改訂に向けて準備を進めているところです。学習指導要領を基に教科書が作成されるので、学習指導要領が変われば、教科書が変わり、授業が変わります。中学校・高等学校も変わるので、これからのお子さんの教育に大きな影響があります。

その中で、「アクティブ・ラーニング」が着目されています。アクティブ・ラーニングとは、講義形式の授業だけではなく、子供の能動的な学修（文科省は、習ではなく「修」を使っている。）への参加を取り入れた授業や学習法のことです。アクティブ・ラーニングでは、子供が「課題を見つけ」、「解決に向けて探究し」、「成果を表現する」過程を子供が主体的に行うことが求められています。

具体的には、体験学習や調査学習、教室でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなどが挙げられます。本校では、アクティブ・ラーニングができる子を育成するために、校内研究のテーマを「主体的に学ぶ子の育成」（理科・国語）として授業改善を進めています。そして、アクティブ・ラーニングを支える「言語能力とコミュニケーション能力」を重視しています。



*写真は、昨年度のもの。「インドとコロンビアは・・・」「スーダンとベトナムから・・・」「おはじきのやり方は・・・」

7月4日(土)の国際交流会は、これらすべての要素が含まれている21世紀型の教育活動です。子供たちは、「お客様の国は、どこにあるのか。どんな国なのか。」「どのように説明したら、日本の〇〇が伝わるのか。」「どのようなゲームや出し物をしたら、喜んでいただけるのか。」などについて考え、おもてなしの準備をしています。当日の子供たちの活動に、ご期待ください。

この行事は、学区域にJICA東京があり、通訳ボランティアの保護者の方々の協力が得られる西原小学校だからできるものです。JICA東京と通訳ボランティアの方々に感謝いたします。

なお、7月25日(土)に「青年海外協力隊50周年特別イベント」がJICA東京であります。詳しくは、ホームページをご覧ください。

社会環境を明るくしよう渋谷区民の集い 4日(土)

4日(土)午後1時半ごろ、幡ヶ谷区民会館の地下ホールで4年生有志がリコーダーの発表を行います。4年図工作品も展示されています。ぜひ、ご覧ください。